

| | | | | |
|------|-------|----------------|---|-----|
| 科目名称 | 社会と生活 | 学年学期 | 単位数 | 時間数 |
| | | 2 学年前期 | | 20 |
| 担当教員 | 山本 希 | 授業に関わる 実務経験 | <input type="checkbox"/> 有 () <input checked="" type="checkbox"/> 無 | |

【1】 授業概要

看護者と患者との間柄を、根源的な「自己－他者」関係から哲学的に考察する。

【2】 学習目標

1. 「自己の本質」と「ケアの本質」、いずれも他者との関係に根差していることを理解し、説明できる。

【3】 ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳および権利を尊重した多様な価値観をもつ人間の理解
- 3. 看護の基礎的知識・技術・態度の修得
- 4. 科学的根拠に基づいた看護援助の実施
- 5. 多職種との連携・協働
- 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 看護専門職としての主体的な学びの継続

【4】 授業計画

| | 内容 | 主な授業形態 |
|----|--------------|--------|
| 1 | イントロダクション | 講義 |
| 2 | 「自分」とは何か | 講義 |
| 3 | 「語ること」の意味 | 講義 |
| 4 | 「聴くこと」の意味 | 講義 |
| 5 | 「他者」の不可知性 | 講義 |
| 6 | 「自己」の不可知性 | 講義 |
| 7 | 「ケア」の場を拓く | 講義 |
| 8 | 共同作業としての「ケア」 | 講義 |
| 9 | 「他者」への責任 | 講義 |
| 10 | 筆記試験 まとめ | |

【5】 評価方法

1. レポート形式の試験を実施

【6】 教科書

教科書は使用しない。適宜プリントを配付する。

【7】 参考書

村上靖彦 著 「摘便とお花見 看護の語りの現象学」 医学書院 2013 年
 鷺田清一 著 「じぶん・この不思議な存在」 講談社現代新書 1996 年

【8】 受講生へのメッセージ